

▼鮮やかなのれんをくぐると、ぬくもりの世界へ

▼女湯のタイル絵。金太郎さんですね。



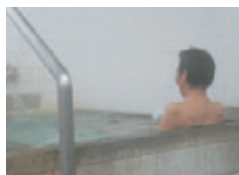
▲男湯のタイル絵。こちらは天女が描かれています。

番台を見つめ続ける人もいる

風呂上がりの団らんスペースでは、常連さんが世間話に花を咲かせる。

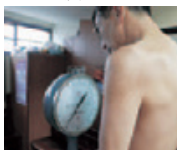
約50年、ほぼ毎日通い続ける山本さん。

以前勤めていた電気関係の会社から、たまに届く助っ人の依頼が楽しみな、75才現役電気技師。



▼お風呂の前の決まりごと

▲よう温もるわ〜



▲団らんのスペース(左が馬田さん、右が山本さん)

「近所にある子どもの家に行けば、風呂もあるんやけどな。ここがええんや。ここの風呂は、よう温もる。」

お隣は通い歴15年目の若手(?)馬田さん64才。

元国鉄職員で、その後トラック運転手を務めた馬田さん。昼間はのんびりと淀川で釣り糸をたらす。

「この前、50センチのキビレあげたんやでえ」

私には番台という場所がある

「番台の仕事があるから、子どもたちと旅行にもほとんど行けなかった。寂しい思いをさせてしまったかもしれませんがね」しかし和佐さんは続ける。

「この年になると家でポーっとテレビを見ているのが、普通かもしれない。でも、私には番台という場所がある。仕事をさせてもらえるのは、ホントにありがたいことです。」



▲時の流れを感じる掲示物

◀そうそう、風呂上がりにはみかん水。

今日も「よっこいしょ」

変わりゆくまちの姿やひとの暮らし。心の中でうつろいかけたその景色が、ここにある。

色あせないぬくもりの空間がここにある。そして、今日も「よっこいしょ」と自分の場所に腰を下ろす和佐子さん。

「この番台は私よりずっと先輩だね。昔はもう少し大きかったんだけど、壁の鏡を大きくするから少し狭く削ったのよ」

何とも言えない温かい色合いの番台と、和佐さんのやわらかい笑顔がよく似合う。

「もう歳だから力仕事は出来ないんだけどね。元気なうちはここに座らせてもらおうよ。」

和佐さん、今日も笑顔をありがとう。



▲女湯のロッカールームは相当な年代物

銭湯 ニュース



第二末広湯さんをはじめ、淀川区には近代的な設備の風呂屋から、昔懐かしいレトロな風呂屋まで、たくさんの銭湯があります。

ひさびさにマチの銭湯でゆったりくつろいでみませんか？

淀川区内の銭湯は、大阪府浴場組合淀川支部さんのホームページでチェック!!

<http://www.osaka268.visithp.com/yodogawa/top.html>

温泉マップで分かりやすい☆☆

大阪府浴場組合淀川支部

検索



～淀川支部の下司会長(十三の宝湯さん)から～

毎週土曜日は、親子ふれあいデーです。保護者1人(有料)につき、子ども(小学生以下)3人まで無料で入浴いただけます。また、季節を通して色々な行事を準備しています。元気いっぱい、まちのお風呂屋さん。ぜひご利用ください!!

加盟銭湯の料金

大人(高校生以上) …… 440円
 (中学生) …… 300円
 中人(小学生) …… 150円
 小人(幼稚園児まで) …… 60円

※平成26年5月1日現在の価格です。お得な10枚つづりの入浴券もありますよ!

「よどじん」コーナーははじめました

いかがでしたか? 今回の「よどじん」。よどじんコーナーでは、静かに流れる人々の暮らし、何気ない風景、そして人の心に光をあて、みなさまの元にお届けします。